

# 京都教区時報

Home Page <http://www.kyoto.catholic.jp>

2頁 多国籍共同体に向かう事例 上野教会

3頁 「都の聖母」小聖堂の祝福ミサ

発行 京都司教区  
責任者 村上透磨  
京都市中京区河原町  
三条上ル  
カトリック会館  
FAX  
075-211-4345

点訳版「京都教区時報」(無料)  
ご希望の方は点訳ネット「レジナ」代表嶽崎(たけざき)裕子さんまでお申込みください。  
TEL・FAX 0794-31-8601



## 一致のためのミサ

教会は、主キリストを通して神である父に感謝をささげ、神への賛美を絶え間なく歌っている「証する共同体」です。

主の日である日曜日に、感謝の心を持って集まり、まず神のことばを味わって、キリストの救いのわざを記念して神をたたえます。この賛美の声が一つになって神にささげられる体験、この共通体験は、私たちの信仰生活にとって最も貴く、そしてまた心温まるものです。

聖靈によって互いに一つに結ばれていることを体験しつつ、皆が一致して、キリストを通して神である父に賛美と感謝をささげます。そのような意味で、それぞれの小教区での日曜日のミサは、何よりもその信仰共同体の一致のための場であり、また小教区という信仰共同体は、この「一致の秘跡」を祝うために設けられているのです。

(外崎 豊)

(写真は河原町教会地階「都の聖母」に捧げられた  
小聖堂の祝福ミサです。三頁に関連  
記事があります)

**11  
2004**

## 多国籍共同体に向かう事例

### 上野教会

地方都市でさえも外国人の姿は珍しくなくなった今日、いまや相互に異文化を理解し、受け入れる姿勢が問われる時代である。

三重県上野市は三千人を超える多くの外国人が居住する地域である。信徒も南米、アジア、ヨーロッパ、アフリカの七ヵ国の出身者がいる。心の拠り所として礼拝に足を運ぶ。相互の文化を認め合い、壁をなくするという意識改革は今後の教会の姿をさらに刷新し成長させるものと思う。

まずは参加することに始まる。

参加は交わりを生み、交わりは相互理解を育み、良い成果を生むための対話に発展する。共に助け合ひ、仕え合い、祈り合う心こそ多国籍共同体を成長させる糧であると思う。当時は重荷に感じた不慣れな交流も、時の経過と共にいまや喜びに転じたと実感する。

上野教会のミサの現状と取り組みについて紹介したい。主日のミサは土曜日の夕と日曜日の朝に行われている。いずれも与る人に垣根はない。「聖書と典礼」が四ヵ国語で準備されている。日曜日は概ね日本語で行われているが、其

に加わっている。土曜日は第一、第五は日本語ミサ、第二、第四は子どもの集い（信仰教育）に続い子供と共に捧げるミサ、第三は外国語ミサ（ポルトガル、スペイン語の混合）となっている。朗読、侍者、奏楽、奉納、聖体奉仕、献金係、ミサの準備と後片付け、聖堂の花生けや清掃に至るまで皆が前向きに係わっている。特に土曜日の夕ミサは外国語の聖歌も取り入れられ、活気と躍動感に溢れるミサとなっている。お知らせは日本語と必要に応じて外国語を用い、口頭と文字（掲示）で情報が行き届くように努めている。

毎年十月にはアパレシーダ（ラジルの大祝日）、ミラグロス（ペルーの大祝日）のミサが捧げられ、国の壁を越えてそれらのミサに多くの人が与り、ミサ後の交流パーティーも楽しんでいる。復活祭、降誕祭のミサは多国籍共同体らしさが反映する形で行われ、聖堂は入りきれない程の人で溢れる。

司祭、信徒のたゆまぬ「共に歩もうとする意識」の積み重ねと「共に奉仕する和の心」がみなを司祭、信徒のたゆまぬ「共に歩もうとする意識」の積み重ねと「共に奉仕する和の心」がみなを

## 滋賀湖東ブロック

ジャクソン神父・佐藤和男

○東ブロックは草津から長浜まで南北に伸びている。東の境は鈴鹿山脈だから、距離としてかなりの市町村が含まれている。教会から遠く離れたところに住んでいる信者は、教会へ車で行くには半時間、

あるいは一時間以上走らなければならぬ。子供を連れてくる方は電車賃がかなり高くなる。車で彦根教会から草津まで一時間以上かかる。ラッシュの時間であると、

もつとかかる。だから共同で何か

しようと思つたら、距離と交通費が考えられる。今まで毎月初金に

行われる「オアシス」が、教会と

協議会・ブロックの合同行事の進

め方についてです。これも大切で

あるが、もつと信仰の話や、聖書の話に向けられないだろうか。自己

を犠牲にする愛と競争を主体にす

る教会の間の共同活動の主な行事で

あつた。毎年七月に行われる「侍

者のサマー・キャンプ」と、毎年八

月初めに行われる「夏期学校」で

も諸教会の合流がある。

ブロックのミーティングは、二

ヶ月に一度開かれる滋賀県協議会の後引き続き開かれる。情報交換や合同行事の協議の場となる。ブロックの中に何千人の外国の信者がいて、それぞれのグループとの連絡や交流が話題となる。外國

## ブロック紹介

人の子供が日本語を学ぶにつれて、日本人とのコミュニケーションと

交流が可能になる（皆一緒に初聖体の準備や堅信の準備をする）。

□共同宣教司牧の理解は、用語になれるまで時間がかかりましたが、組織化への対応は、余り苦になりませんでした。民主的な運営は、早くからなされていました。規約も日々に案をもとに検討にはいります。マリア様へ聖靈を祈ります。

□ブロック会議も、今は大部分が

も近々に案をもとに検討にはいります。マリア様へ聖靈を祈ります。

## 「都の聖母」に捧げられた小聖堂の祝福



都の聖母像



九月二十九日(水)、河原町教会の地下に「都の聖母」に捧げられた小聖堂が完成し、大塚司教により、祝福ミサが捧げられました。

ミサの説教の中で大塚司教が話された内容を紹介します。

今から百二

十五年前の今  
日、京都でヴィリオン神父が宣教を開始さ

れたその日に、都の聖母小聖堂が完成し、祝福ミサを捧げることになつたのは、願いが叶つたことであり、皆さんと共に喜びたい。

実現に至るまでご尽力いただいなつたのは、神様に感謝申し上げたい。この献堂の意味は、ザヴィエルが果たせなかつた都での宣教が再開されたこと、都の中に聖母に捧げられる聖母像

将軍塚に埋められ、発掘されてこの場所に安置されているマリア様と一緒に、私たちも将軍塚の土の中に埋められて、祈つてゐるようにも思える。

今日この聖堂を神様に祝福していただき、マリア様を通して、今私たちが行つてゐる共同宣教司牧を推進して福音宣教する共同体になることを祈りたいと思う。

また、特にこの聖堂は平和のために祈る聖堂としてマリア様にお捧げしたい。日本における先の大戦の開戦日十二月八日と、終戦日八月十五日という日は、マリア様の大切な祝日と重なっている。これは平和の使命を私たちに与えて下さっているように思う。変わらぬ平和への決意をマリア様を通して神様にお捧げしよう。

① ザヴィエルが携えて来た聖母画像に模して、あるいはモデルにして作られたと書かれた資料がある。しかしその原図は存在せず、イエズスとともに描かれていたと

いうこと以外は確認出来ない。

## 「都の聖母」の謎

小聖堂の祝福に先立ち行われた、聖母女学院短期大学三俣俊二名誉教授の記念講演の要旨です。



「都の聖母」は、ザヴィエルが日本に携えて来たと伝えられる聖母

画像にちなんでローマで六体鑄造され、教皇の祝別を受けて命名された。その内一体が『京都に一日も早く宣教師が入る日の来るよう』と明治六年、将軍塚に埋められた。その後明治十二年九月二十八日京都に赴任したヴィリオングル神父が翌日から京都における宣教を開始し、埋められた聖母像を掘り出した」と伝えられている。

ところが、資料を調べていくと、資料的に多くの謎があることが分かる。その中のいくつかについてご紹介したい。

② 教皇の祝別は十二月三十一日とされる。しかし、像は翌年一月に横浜に届いたと推測され、当時輸送に二ヶ月がかかつていて、祝別は十月三十一日であったという資料もある。

③ 掘り出されて今安置されている「都の聖母」は、横浜のジラール神父に送られてきたものかどうか。六体の内の別のものではなかつたかという強い可能性がある。

④ 残りの五体の行方は、現在は不明である。

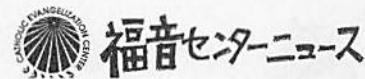
⑤ 将軍塚に埋めたのはヴィグルー神父直接か、日本の青年に託したのか明確ではない。

⑥ 掘り出した日は、地図により京都に赴任した翌日の九月二十九日すぐか。来る日も来る日も辺りを掘り返して苦労してついに探し出された」と伝えられている。

⑦ ヴィリオングル神父の祈りは、「ああ、土に埋もれたまま日本のために祈りたまひし聖母よ……」という言葉であったかどうか分らない。

以上、「都の聖母」についての謎は多いが、四百五十数年前にザヴィエルが京都に来たときの願いが引き継ぎ、継がれて、今日実現したことは大変意義深い。

## 養成コース案内



### ■『カトリック教会の教え』に親しもう（Ⅱ）■

昨年度に引き続き、『カトリック教会の教え』の理解を深めるために研修会を行います。執筆者の一人である岩島忠彦師（同書第1部）より直接に解説を受けるチャンスですので、各教会で要理に携わっておられる方、日曜学校担当の方はぜひご参加ください。

日 時：2004年11月13日（土）、14日（日）各10：00～16：00〈全日程参加〉

会 場：河原町教会地下ホール

費 用：3,000円

申込締切：10月29日（金）〈締切日以降に受講票をお送りします〉

募集人数：80名

プログラム： 11月13日（土）…「過越しの秘義」（同書92～99ページ）

11月14日（日）…「教会の本質」（同書130～136ページ）

### ■ 第24回結婚講座案内 ■

日 時 2005年1月29日（土）、2月5日（土）、2月19日（土）

時間は 午前10時～午後3時まで

場 所 カトリック福音センター 大ホール

費 用 一人10,000円

### ■ 祈り（Ⅱ）『祈る心を深める』—内なる沈黙を聴く— ■

日 時 2004年11月5日（金）～7日（日）

場 所 ノートルダム修道院（大津市・唐崎）

### ■ キリスト教基礎講座 ■

福音センターでは2005年4月よりキリスト教基礎講座を始めます。信徒の奉仕職を考えるにあたって、避けて通れないキリスト教の基礎的な学びを、講師とともに少人数のグループで行います。2005年度は、わたしたちの人生の中の様々な課題とキリストの救いがどのようにかかわるかがテーマです。詳細は追って各教会にご連絡いたします。

ーお問い合わせー

〒604-8855 京都市中京区壬生淵田町26 カトリック福音センター

Tel 075-822-7123 Fax 075-822-7020 E-mail fukuin@kyoto.catholic.jp



わたしには40歳になる精神病の息子がいます。病状が重くて面会もかなわない時期がありました。けれどちょうどその頃、福音センター主催の「病人訪問コース」に誘われ、その中で「愛するだけでは足りない、感じさせなければならない」ということを学びました。さっそく実行。息子への手紙の中で、「あなたは大切な我が家の長男、心から愛し、退院を待っています」と書き送り続けました。何かが通じたのでしょうか、やがて息子は外出や外泊もできるようになりました。

### ★同じ痛みをもつ人々と共に

その息子にO君という友人がいます。彼も入退院を繰り返していますが、時々小説のようなものを書いては送ってきます。息子に小説を取り次ぐわたしにも意見を求めてくるので、彼の姿勢がとても前向きなこと、言葉がとても礼儀正しいことなどをほめ、彼の反省を基に、その中から良い点を見つけるようにします。あるときO君に、「あなたのように、神様からいただいた賜物を活かして使うのはとても幸せなことよね」と言うと、「ああそうなんですね」と、とても喜んでくれました。

今、O君はじめ同じ病の数人に、福音を伝えられますようにと祈り始めています。

人生につきまとう様々な苦しみや痛み。しかしながら、それらをバネとして「あかし」に向かうことができる。今回は他教区からの寄稿をいただいた。

河村 久子

(名古屋教区城北橋教会)

### ★隠れた祈りに支えられ

祈りといえば、わたし自身の洗礼までの歩みにひとりの夫人の30年を越える祈りがありました。洗礼を授かったのは主人と一緒に5年前のことですが、わたしはすでに若いときから、修道院や教会をたずねてシスターと司祭と親しくお話をすることをとても楽しみにしていました。ですから自分の洗礼もいわば当たり前のように思っていたのですが、その裏に夫人の深い祈りがあったことを知ったのは、その方のご葬儀の席でした。目からうろことはこのことでしょうか。サウロがパウロになりました。

今度はわたしが同じ思いをもって病気の若者たちのために祈っています。

人々のために祈り、人々に愛を感じさせるよう努めること、これこそがわたしのささやかな福音宣教です。

あなたは神さまの愛の表現となって  
ください  
あなたの微笑みにも  
あいさつにも  
愛があなたの顔にもまなざしにも  
いつも表れているように

マザー・テレサ

お  
知  
ら  
せ

教区委員会から

◆ 信仰教育委員会▼青年黙想会「あなたはわたしの愛する子、わたしの心に適う者」大塚司教とともに祈る黙想会——7日(日)9時半～16時半 場所 ウィチタ聖ヨゼフ修道会黙想の家(竜安寺)

◆ 聖書委員会▼聖書深読13日(土)10時 新井延和師 河原町会館六階

◆ 典礼委員会▼教会の祈りと聖体贊美式・主日のミサ 第一日曜日17時半 河原町教会

◆ 滋賀カトリック協議会▼例会21日(日)13時半 唐崎教会▼びわこウォーカソン23日(祝)9時45分開会式 大津教会 送金先 おつ福祉会、ひかり福祉会、止揚学園

◆ 奈良カトリック協議会▼協議会例会21日(日)14時大和郡山教会▼聖書講座シリーズ「み旨が地にも」12・13日 村上透磨師、26・27日 新井延和師▼正義と平和奈良協議会一日研修会3日(祝)10時 大和八木教会、課題募集21日(日)14時 奈良教会

地区協議会から

◆ 滋賀カトリック協議会▼例会21日(日)13時半 唐崎教会▼びわこウォーカソン23日(祝)9時45分開会式 大津教会 送金先 おつ福祉会、ひかり福祉会、止揚学園

◆ 宇治カルメル会▼聖書深読黙想会20日(土)～21日(日)九里彰師▼一般のための黙想17日(水)10時「諸聖人の通功」長岡幸一師

◆ 京都女子カルメル会修道院▼講話「信仰生活の師」十字架の聖ヨハネー12月5日(日)13時半 講師 北村善朗師 ミサ15時 問合せ075(462)6764

修道会から

◆ ウィチタ聖ヨゼフ本部修道院▼黙想会「神に向かって人生を祈る」

27日(土)14時～28日(日)16時指導リチャード師(大阪教区)費用二千円 対象 未婚の女性▼問合せ075(462)0754 Sr. 山本

◆ 宇治カルメル会▼聖書深読黙想会20日(土)～21日(日)九里彰師▼一般のための黙想17日(水)10時「諸聖人の通功」長岡幸一師

◆ 京都女子カルメル会修道院▼講話「信仰生活の師」十字架の聖ヨ

ハネー12月5日(日)13時半 講師 北村善朗師 ミサ15時 問合せ075(462)6764

プロック・教会から

◆ 京都南部東プロック▼ウォーカソング3日(祝)10時 河原町教会から鴨川沿い往復 送金先 ウィグルの子供たち、ルワンダの障害者、ネバールの子供たち▼歌と祈りの集い

28日(日)15時 山科教会 テーマ「愛と平和」問合せ 075(461)8722禹

◆ 河原町教会▼クリスマス行事予定12月11日聖歌集による歌ミサ、16日チャリティーコンサート、18日国際ミサ、24日市民の集い

◆ 河原町教会▼クリスマス行事予定12月11日聖歌集による歌ミサ、16日チャリティーコンサート、18日国際ミサ、24日市民の集い

◆ 河原町教会▼クリスマス行事予定12月11日聖歌集による歌ミサ、16日チャリティーコンサート、18日国際ミサ、24日市民の集い



Sr. 國分, Sr. 村上, Sr. 渡辺, Sr. 斎藤, Sr. 阪口

ここにちはシスター

ノートルダム教育修道女会今海道町修道院(その二)

前号に統いて、今海道町修道院のメンバー5名の使徒職について紹介致しましょう。経理事務ペテランのシスター坂口は、関節のリハビリに通いながら私達の地区本部会計の補助的仕事をし、又、私達の体の種であるパン作りや庭の手入れなど共同体奉仕をしています。シスター斎藤は小学校で低学年の宗教を担当し、子ども達が「愛されている自分」「イエスさまは?」「旧約の世界」をよく理解するよう工夫して教えています。シスター渡辺は小学校で、日本人としての自覚と思いや

りの心を育てる事を目的に礼法と茶道を教えています。シスター村上は、修道院で児童と生徒に書道とその心構えを教え、さらに「みことば」を知らせて、年に一度みことば書きをしています。また、大学の寄宿舎監の補助もしています。シスター國分は、女性であることと喜び、国際的に活動する女性になつて欲しいと願つて女学院で英語を、大学で女性学概論を教えています。

これらの活動をしている私達の修道院は、学校から一筋東の泉川沿いで、五山送り火の「妙法」の「妙」の字が前に見え、地下鉄松ヶ崎駅へは二～三分、カトリック高野教会へは徒歩十五分という環境の良い住宅地にあります。私達は今海道町の隣組に加えて頂き、ご近所の方々と交わり、十二月には「クリスマスの集い」を催してご近所の方々と一緒に祈り、語り合い、修道院が地域の方々の交流の場となっています。又、朝のミサには高野教会の信者さん方や松ヶ崎のメリノール会のシスター方もいらっしゃることがあります。

この地に移つて十年目を迎えた私達は、今後も益々福音宣教に励もうと張り切つております。

- ◆聖ドミニコ女子修道会▼「ロザリオと共に祈る会」19日(金)10時半 当日どなたでもどうぞ▼みことばを聴こう!「みことばと聖ドミニコ」20日(土)14時 講師 Sr. 安達徐対象 青年男女 会費三百円 申込み075(231)2017 Sr. 庄子
- ◆教育関係施設から
- ◆京都聖カタリナ女子高等学校▼載帽式6日(土)
- ◆聖母教育文化センター▼「日曜巡礼の旅」—高山右近夫婦出生地 摂津高山—14日(日)13時阪急池田駅改札口集合 指導者 三俣俊二名誉教授▼聖書講座問合せ075(643)2320
- ◆おてんとうさんの会▼例会第四金曜日 西院教会時15時 問合せ075(691)5615
- ◆京都カトリック混声合唱団▼練習日14日(日)14時、27日(土)19時、いずれも河原町会館六階ホール
- ◆京都キリスト研究会▼定例会28日(日)14時 河原町会館六階ホール
- ◆コーエーチェレステ▼第一、第四

- ◆木曜日 河原町会館六階ホール  
◆聖ヴィンセンシオ・ア・パウロ会▼河原町協議会14日(日)、京都中央理事会28日(日)河原町教会グループ▼手話教室 第二木曜日13時 河原町会館六階ホール
- ◆二金会▼第二金曜日10時15分 西陣教会
- ◆糠みその会▼例会25日(木)19時45分 九条教会
- ◆レジオ・マリエ▼14日(日)時半 河原町会館一階教理室
- ◆心のともしび11月番組案内
- ▼テレビ 主な放送内容  
(7日の放送内容)
- 様々な人との死別後「元気になれ」と言われるのではなく、悲しみの中で自分以外の存在の気配を感じた時、再び生きる力を回復していく人々。「ちいさな風の会」世話人の若林一美さんに聞く。
- ▼ラジオテーマ「家族」  
▼問合せ075(211)9341
- ◆「一万匹の蟻運動」基金報告 累計 四一、九一六、三四二円  
(九月十四日現在)
- ◆お詫びと訂正 三三三号(十月号)二ページ下段奈良北部ブロックの記事中、二カ所ある「司教」は「司祭」の間違いでした。お詫びして訂正いたします。

## 『ある聖女の死』

幼きイエズスのテレジア

十一月は、死者の月。死について、何か良い本を、と探していました。そこで誰か聖人の死を描く本があれば、と思いまし

た。

そこで目についたのがリジュー

のテレジアの死についてでした。

テレジアの一生はご存じのよ

うに、父である神の憐れみの出

会いと言つてよいでしょう。

テレジアは自分の一生を振り

返り、自分の生涯の記録は、神

の憐れみを歌い始めること(自

叙伝の書き出し)と、慈しみへ

の信仰告白で終わっています。

事実自叙伝は「私が信頼と愛

をもって、み主の方に登つて行

くのは、決して神様がおん憐れ

みで先回りして、私の靈魂を大

罪から守つて下さったからでは

ありません……」

ここでテレジアの指が動かなくなり詩が書けなくなってしまいました。

いました。これが七月十一日。

九月三十日夜半、彼女が望んで

いた通り十字架上におけるイエ

スの死を遂げたのでした。良

き死は一生懸命に生きた生涯の

実りであり完成なのです。(小

さきテレジア自叙伝) ドンボス

コ社)

しかし聖女は最後に力をふり

しほつて次の言葉を御絵の裏に

書き残しました。「おおマリア

様、もし私が天の元后で、御身

がテレーズだといたしましたら、

私は御身が天の元后でいらっしゃるよう、テレーズでありとう

ございます。」九月八日、死の

三週間前でした。(『テレーズの

手紙』中央出版)

テレジアの七月十六日の最後

で、「愛で死ぬ、それは本当に

甘美な殉教」と書きました。

テレジアの死については、聖

女の最後の言葉を記録した『小

さき死の最後の言葉』(ドンボス

コ)、「私はいのちに入ります」

聖母の騎士、伊庭昭子訳、ギイ

ゴシエ『死と闘をこえて』聖母

文庫、があります。

テレジアは言います。「私は

死ぬのではありません、いのち

に入るのです」と。そして、最

後の言葉「私は主を愛します:

私は御身を:愛します」を最後

に、すうっと息を引き取ったの

です。そして修室の扉が開かれ

ました。それはあたかも、天の

扉の開放かのように。(『教訓

と思ひ出』中央出版)

# 大塚司教の

## 11月のスケジュール

10月26日 (火)～2日 (火) 教区 司祭年の黙想	3日 (水)～4日 (木) 中央協常 任司教委員会	6日 (土) 第二回教区評議会 14時 大塚司教とともに祈る	7日 (日) 青年黙想会 (ウィチタ 聖ヨゼフ本部修道院) 衣笠墓参14時	8日 (月) 青少年委員会 15時 大阪京都合同司教顧問 会 (大阪) 15時	9日 (火) 大阪京都合同司教顧問 者会議 10時	10日 (水) 国際協力委員会・関係 者会議 10時	11日 (木) 司教顧問会・責任役員 会 10時	12日 (金) 教区司祭追悼ミサ (河 原町) 17時 滋賀地区ラテンアメリカ 共同体堅信式 ミサ (草津) 14時 13日 (月) 共同宣教司牧推進事務 局会議 14時	年11時 三重地区ラテンアメリカ カ人共同体堅信式 (四 日市) 17時 司教座聖堂献堂記念日 司祭全体集会 10時半 司祭評議会 15時半 女子奉獻生活者の会代 表者会議 14時 奈良北部ブロック司教 訪問 (大和郡山教会) 9時 員会研修会
21日 (日) 三重地区ラテンアメリカ カ人共同体堅信式 (四 日市) 17時 司教座聖堂献堂記念日 司祭全体集会 10時半 司祭評議会 15時半 女子奉獻生活者の会代 表者会議 14時 奈良北部ブロック司教 訪問 (大和郡山教会) 9時 員会研修会	22日 (月) 三重地区ラテンアメリカ カ人共同体堅信式 (四 日市) 17時 司教座聖堂献堂記念日 司祭全体集会 10時半 司祭評議会 15時半 女子奉獻生活者の会代 表者会議 14時 奈良北部ブロック司教 訪問 (大和郡山教会) 9時 員会研修会	23日 (火) 三重地区ラテンアメリカ カ人共同体堅信式 (四 日市) 17時 司教座聖堂献堂記念日 司祭全体集会 10時半 司祭評議会 15時半 女子奉獻生活者の会代 表者会議 14時 奈良北部ブロック司教 訪問 (大和郡山教会) 9時 員会研修会	24日 (水) 三重地区ラテンアメリカ カ人共同体堅信式 (四 日市) 17時 司教座聖堂献堂記念日 司祭全体集会 10時半 司祭評議会 15時半 女子奉獻生活者の会代 表者会議 14時 奈良北部ブロック司教 訪問 (大和郡山教会) 9時 員会研修会	25日 (木) 三重地区ラテンアメリカ カ人共同体堅信式 (四 日市) 17時 司教座聖堂献堂記念日 司祭全体集会 10時半 司祭評議会 15時半 女子奉獻生活者の会代 表者会議 14時 奈良北部ブロック司教 訪問 (大和郡山教会) 9時 員会研修会	26日 (金) 三重地区ラテンアメリカ カ人共同体堅信式 (四 日市) 17時 司教座聖堂献堂記念日 司祭全体集会 10時半 司祭評議会 15時半 女子奉獻生活者の会代 表者会議 14時 奈良北部ブロック司教 訪問 (大和郡山教会) 9時 員会研修会	27日 (土) 三重地区ラテンアメリカ カ人共同体堅信式 (四 日市) 17時 司教座聖堂献堂記念日 司祭全体集会 10時半 司祭評議会 15時半 女子奉獻生活者の会代 表者会議 14時 奈良北部ブロック司教 訪問 (大和郡山教会) 9時 員会研修会	28日 (日) 三重地区ラテンアメリカ カ人共同体堅信式 (四 日市) 17時 司教座聖堂献堂記念日 司祭全体集会 10時半 司祭評議会 15時半 女子奉獻生活者の会代 表者会議 14時 奈良北部ブロック司教 訪問 (大和郡山教会) 9時 員会研修会	29日 (月) 三重地区ラテンアメリカ カ人共同体堅信式 (四 日市) 17時 司教座聖堂献堂記念日 司祭全体集会 10時半 司祭評議会 15時半 女子奉獻生活者の会代 表者会議 14時 奈良北部ブロック司教 訪問 (大和郡山教会) 9時 員会研修会	30日 (火) 三重地区ラテンアメリカ カ人共同体堅信式 (四 日市) 17時 司教座聖堂献堂記念日 司祭全体集会 10時半 司祭評議会 15時半 女子奉獻生活者の会代 表者会議 14時 奈良北部ブロック司教 訪問 (大和郡山教会) 9時 員会研修会

## 来年度年間予定

一月号に2005年の年間  
予定を掲載します。締切11月  
22日(月)までに、「教区時  
報宛」と明記して、FAX 0  
75(211)4345または  
は、henshu@kyoto.catholic.  
jpにお願いします。

はつきり確定していない場  
合でも、予定として掲載いた  
します。

内容によってお問合せする  
必要がある場合がありますの  
で、ご連絡者を明記下さい。

## ネットワークミーティング 有地 実希

九月十八～二十日、広島市職  
町教会にて、第七回ネットワー  
クミーティング(NWM)・第  
九回青年連絡協議会が行われ、  
全国から青年・司祭・シスター  
が、総勢約七十名が集いました。

まず一日目の日程(NWM)  
は班に分かれ、テーマに対して  
各々が思う事をラベル上に短い  
文で表し、集めたラベル同士の  
位置付けや関連性を図や絵柄に  
しながら、最終的に全員の共通  
する思いを導き出すというラベ  
ルワークを行いました。テーマ  
は様々で、愛と平和・祈り・文  
化などなど奥の深いテーマで、  
思いを形にしていくのは容易で  
はありませんでしたが、やっと  
図式が完成した時は、皆晴れ晴  
れしい顔つきでした。その後、  
世界平和記念大聖堂でテゼのミ  
サを行い、夕食をいただき、ワー  
クの発表をしました。それぞれ  
班の思いの丈に触れ、和氣あい  
あいと分かちあいました。

二日目の大聖堂でのミサでは、  
前日分かちあつた内容からそれ  
ぞの班で考えた共同祈願を唱  
え、図式を奉納し、青年の願い  
を司教様に祝福していただきま  
す。

三日間、色々な青年や司祭の  
方と語りあったり、職員教会の  
信徒の方に大聖堂の中を案内し  
ていただいたら、とても有意義  
に楽しくすごすことができたこ  
とを感謝します。

第八回NWM・第十回連絡協  
議会は、二〇〇五年二月十一～  
十三日、奈良の野外礼拝センター  
で行われる事になりました。広  
島のスタッフが尽力してくれた  
ように、今度は京都教区の青年  
が一丸となつて全国から集う青  
年を迎える為、一所懸命取り組  
んでいきたいと思います。

した。ミサ後大聖堂に飾られた  
図式を見て、職員教会の信徒の  
方が深く共感してくださった  
ことも良い思い出です。  
二日目の協議会では、それぞ  
れの教区での青年の活動状況を  
報告しあい、今後NWM・協議  
会をどのように展開させていく  
かを話し合いました。この集い  
によって、何らかのメリットを  
期待するのではなく、多くの教区  
で青年を支えていこうとする意  
識を持っていて大きなかけに  
なることと、この会の継続を願  
いつつ、解散しました。

した。ミサ後大聖堂に飾られた  
図式を見て、職員教会の信徒の  
方が深く共感してくださった  
ことも良い思い出です。